

全国商工会議所

ビジネス総合保険制度

会員事業者を取り巻く様々な事業活動リスクからお守りします。
「ビジネス総合保険制度」にぜひご加入ください!

本制度のここが特徴

- 特徴 1 全国商工会議所のスケールメリットによる割安な保険料水準
- 特徴 2 会員事業者を取り巻くリスクに対する補償のモレ・ダブリを解消し、一本化してご加入
- 特徴 3 賠償責任(生産物、リコール、情報漏えい、サイバー、施設・事業活動遂行等)のリスクを総合的に補償
- 特徴 4 事故(火災、風災、水災、雪災等)により生じた、休業損失を補償
- 特徴 5 サイバー攻撃の激化や攻撃手段の高度化を踏まえ、サイバーリスクも補償

従来の
保険契約

モレやダブリが
ないか不安
●ご契約手続きが
保険ごとに必要
●保険料がかさむ



ビジネス
総合保険制度

補償の
重複がない!
●ご契約手続きを
一本化!
●低廉な保険料!



ビジネス総合保険制度ならモレやダブリなく、1つにまとめて補償します!

商工会議所の団体保険制度は、全国商工会議所のスケール
メリットにより、低廉な保険料でご加入いただけます。

最大約 **33%OFF**

※日本商工会議所が包括加入者となって損害保険会社と契約し、各地商工会議所の協力のもと運営していることから「商工会議所会員のみ」にご加入いただけます。
※割引率は引受保険会社によって異なります。

制度運営

日本商工会議所

<https://www.ishigakiservice.jp>



お問合せ先

各地商工会議所

新潟商工会議所

検索

引受保険会社

東京海上日動火災保険株式会社 [事業活動包括保険]

損害保険ジャパン株式会社 [事業活動総合保険]

三井住友海上火災保険株式会社 [企業総合賠償責任保険、建設業総合賠償責任保険]

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社 [タフビズ賠償総合保険、タフビズ建設業総合保険]

大同火災海上保険株式会社 [賠償総合保険]

引受保険会社や取扱保険商品は商工会議所によって異なります。保険名称、補償内容、対象業種は引受保険会社によって異なります。このご案内は概要を紹介したものです。ご加入にあたっては、必ず各保険会社の「パンフレット」や「重要事項説明書」をよくお読みください。詳細は契約者である団体の代表者の方にお渡ししてある保険約款によりますが、ご不明な点がある場合には、お近くの保険代理店、引受保険会社または最寄の商工会議所までお問合せください。商工会議所会員のみ、商工会議所保険制度(団体割引適用)にご加入いただけます。本募集広告は、商工会議所会員向け保険制度の事務管理を行う有限会社石垣サービス(パートナーシップ構築宣言企業)が日本商工会議所の経営協力により作成したものです。商工会議所では、このほかにも各種共済制度を取り扱っております。また、商工会議所によっては一部の保険制度・特約を取扱っていない場合もあります。詳しくはお近くの商工会議所にお問合せください。

中小企業のためのDX事例

薬剤師が開発する現場作業効率化のデジタルサービス

薬剤師の山口洋介さんは、東京の神田神保町で調剤薬局を経営する傍ら、同業者である薬剤師にとって現場で役立つデジタルサービス開発も行っています。今回は、山口さんが開発したデジタルサービスをご紹介します。

山口さんが開発活動を始めたきっかけは、薬局を開業した現場での経験にあります。開業当初は「ワンオペ」で多忙を極めていました。その状況を打開するために、市販のITツールやソフトウェアを探しましたが、いいものが見当たりません。そこで未経験ながらプログラミングを独学し、自分の業務効率化のためにいろいろなデジタルサービスを開発し始めました。

初めに成果を上げたのは「ビッグデータ解析による薬品の棚配置の最適化」です。以前は薬を50音順で棚に並べていましたが、調剤実績データを分析して、頻出する薬の組み合わせを導出し、その組み合わせごとに近くの棚に配置することで、調剤時間を半分近く減らすことができました。

次に成果があったのは、「スマートスピーカーを使った月次実地棚卸業務の効率化」です。これまで月次棚卸は、両手を使って錠剤数を数えてパソコンまで移動し、システム在庫と突き合わせていました。両手がふさがっていても耳と口は空いているので、当時販売し始めたばかりのスマートスピーカーを使うことにしました。錠剤を数えながら薬の名前を言うと、システム上の在庫数をしゃべっ

てくれます。また払い出し実績も需要予測もできるので、「どのくらい出てる?」と聞くと過去数カ月の実績を答え、「どのくらい出そう?」と聞くと向こう数カ月の需要予測をしゃべります。これにより労力を5分の1くらいに減らすことができました。

これらの自分のために開発したツールをSNSでシェアすると、同じ悩みを抱える同業者から多くの前向きな反応がありました。自分では気が付かなかった要望もいろいろと挙がり、すぐに実装して試してもらうというのを続け、その結果デジタルサービスのスタートアップとして起業することになりました。

「自分のために開発したツール」の象徴的なエピソードとして、スマートスピーカーによる応援機能があります。業務終了時に薬剤師がスマートスピーカーに向かって「ありがとう」と言うと、「お仕事頑張ってくださいね」と答えるものです。毎月この地道な業務を行っているのに誰にも褒められなかったが、このスピーカーに初めて応援してもらえたと感じる薬剤師が多くいたそうです。もしシステム開発会社に外注して、見積額が高いと感じたら真っ先に削られる機能ですが、薬剤師が開発し薬剤師が評価するとこの機能が実装されるのかと気付かされ、現場で使う人が開発する意義を改めて感じました。(この事例は筆者取材時のものであり、現在では異なる場合があります)

ウイングアーク1st株式会社 データのじかん主筆
大川 真史

◇大川 真史／おおかわ・まさし

ウイングアーク1st データのじかん主筆。IT企業を経て三菱総合研究所に12年間に在籍し、2018年から現職。専門はデジタル化による産業構造転換、中小企業のデジタル化。オウンドメディア『データのじかん』での調査研究・情報発信が主な業務。社外活動として、東京商工会議所ものづくり人材育成専門家WG座長、エッジプラットフォームコンソーシアム理事、特許庁I-OPEN専門家、ロボット革命・産業IoTイニシアティブ協議会中堅中小AG副主査、サービス創新研究所副所長など。i.lab、リアクタージャパン、Garage Sumida研究所、Factory Art Museum TOYAMA、ハタケホットケなどを兼務。各地商工会議所・自治体での講演、新聞・雑誌の寄稿多数。近著『アイデアをカタチにする!M5Stack入門&実践ガイド』。